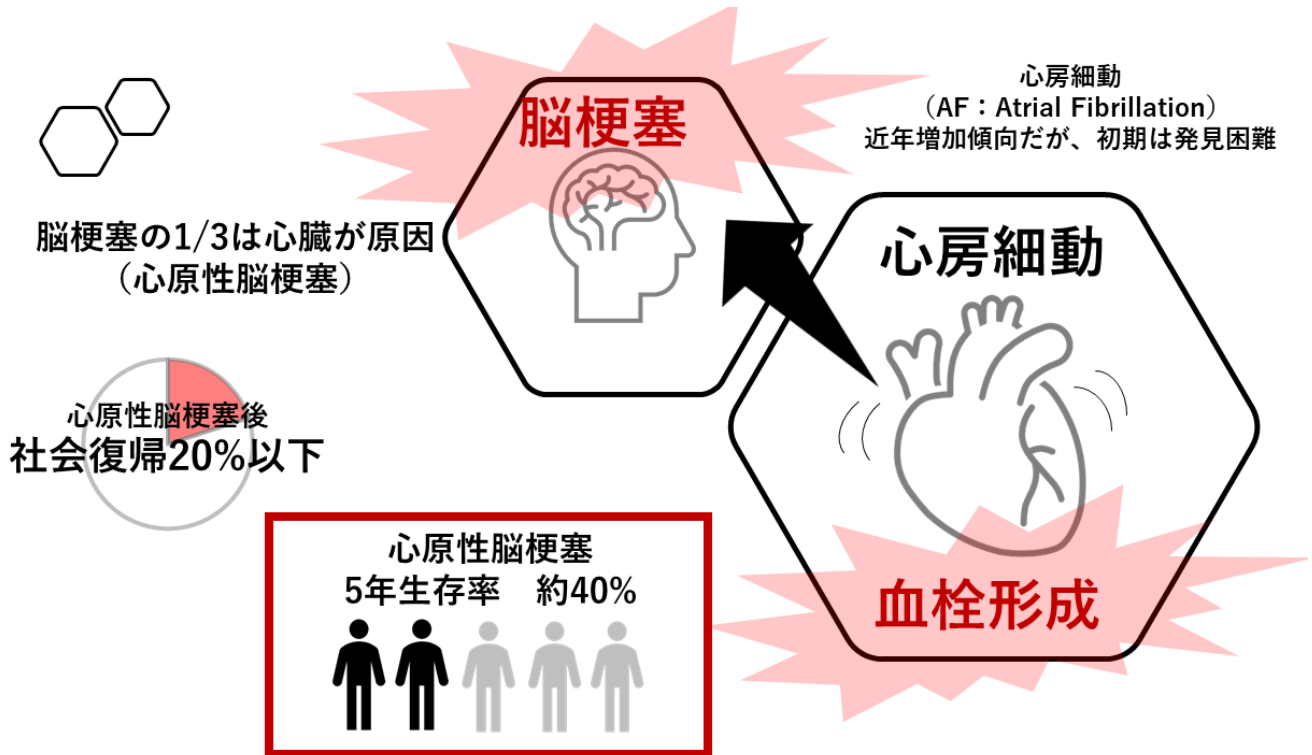


AI及びリモートテクノロジーを用いた
心房細動の早期発見により
清水区を **日本で一番**
脳梗塞の少ないまちにする地域プロジェクト



Stroke Prevention by early detection of AF in Shimizu



最先端技術で
心房細動を
早期発見!

早期治療で
脳梗塞を予防!



【心房細動早期発見のメソッド】

心電図のAI診断

専用心電計での12誘導心電図 (清水医師会健診センター)

2種類のデバイスによる リモートモニタリング



胸部に貼付する1ch心電計
腕時計型の脈波センサー
(1週間貸出~クラウドで評価)



A I 及びリモートテクノロジーを用いた心房細動の早期発見により
清水区を脳梗塞の少ないまちにする地域プロジェクト
Stroke Prevention by early detection of AF in Shimizu (SPAFS)

心房細動（AF）は近年増加傾向にある最も多い不整脈で、これによって引き起こされる脳梗塞（心原性脳塞栓）は死亡率の高いきわめて重篤な疾患です。

この心房細動を早期に発見し、早期に治療（抗凝固薬による血栓形成の予防やカテーテルアブレーションによる心房細動自体の治療）を開始することができれば、重篤な脳梗塞の発症を防ぐことが可能となります。しかし、心房細動は自覚症状がないことも多く、発作性の場合は発作時でなければ心電図変化がみられないため、初期にはその発見は困難です。

2021年秋、静岡市清水医師会では、静岡市（静岡市立清水病院）・東京医科歯科大学との3者協同事業として、A I とリモートテクノロジーを活用して心房細動を早期に発見するプロジェクトを開始しました。まずは清水区の住民の皆様を対象に、心房細動を早期に発見・治療することで、清水を日本で一番脳梗塞の少ないまちにすることを目指しています。世界に発信する静岡市のモデル事業としてすすめてゆきます！ご参加頂ける方は、下記の参加申込窓口にご連絡下さい。

2022年6月

静岡市清水医師会 SPAFS 運営委員会



参加申込窓口：

静岡市清水医師会健診センター SPAFS 運営事務局

Tel. 054-348-0515（電話受付時間：平日 8:30～17:00）

Fax. 054-348-7734 <http://spafs.jp>